

# 19億円超の補正予算で取り組む

日田市は7月21日、被災者支援、応急復旧費などの補正予算19億円を組みました。原田市長は、被災した市民に支援策を説明し、意見交換を行いました(23日、26日)。

日田市は、7月21日までに市が把握した豪雨被害に対し、補正予算19億1869万円を組み、予算の概要を市議会全員協議会(22日)で説明しました。

原田市長ら執行部は、23日に中津江ホールなど3カ所、26日に旧天瀬公民館と上津江体育館で被災者支援や応急復旧などについて市民と意見交換を行いました。

## 豪雨被害補正予算 被災者支援、応急復旧など

7月補正予算の主なもの(7月21日)

住宅再建支援	7,774万円
住宅確保、応急修理	5,494万円
災害ゴミ運搬 家屋の解体撤去	1億6,972万円
農地・施設の災害復旧	2億7,611万円
林地・施設の災害復旧	1億2,358万円
道路・河川・橋など 応急復旧	7億9,830万円



▲市長(中央)ら被災者と意見交換(26日、天瀬)

旧天瀬公民館には約70人が集まりました。珍珠川の氾濫で甚大な被害を受けた住民からは「珍珠川の治水対策をしなければ、また同じことが起こる」などの意見が出されました。市長は「天瀬温泉街のあり方を住民とともに考えなくはないといけない」と答え、抜本的な減災対策の必要性を述べました。

天ヶ瀬温泉街を流れる珍珠川河床には複数の温泉源が点在しており、河川氾濫のたびに珍珠川の河川整備が課題になるものの、地元住民の意見一致を見ることなく棚上げされてきました。日本共産党日田市議団は、今回の甚大な豪雨災害を受け、河床にある温泉源の保全確保と防災・減災を両立する河川改修について、国が技術的な助言を県および市に早急に行うことが必要と考えています。これら国への緊急要請を党国会議員を通じて行います。

## 新天瀬橋 撤去工事 クレーン設置へ工事始まる

新天瀬橋  
撤去工事

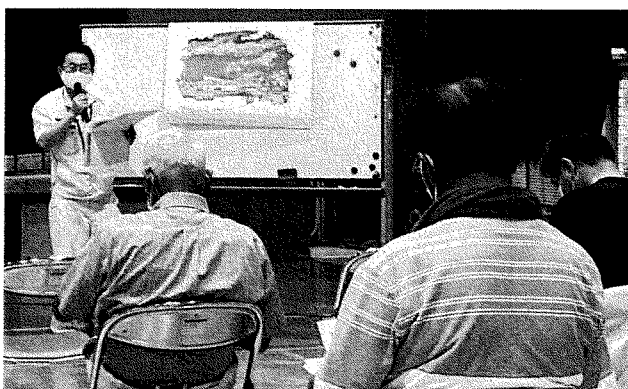
# 撤去工事が終わるのは10月末

日田市は8月3日、珍珠川の氾濫で崩落した新天瀬橋の撤去工事について地元説明会を行いました。住民からは、崩落した橋の下にある温泉源の保護などの要望が上がりました。

橋は長さ約63m、総重量100ト以上。鉄骨の橋桁が曲がり、川に横たわっています。

撤去工事は、鉄骨に絡みついた流木や枝などを取り除きながら、橋桁を切断して大型クレーンで川から引き上げます。市の担当者は、温泉源の保護に注意を払いながらの工事になるため、順調に撤去が進んでも、工事が終わるのは10月末になると説明しました。

温泉源は対岸にも複数あるため、撤去工事への影響を心配する声が上がりました。



▲市土木課職員(左端)が工事イメージ図で工事のやり方を説明(3日、旧天瀬公民館)



▲崩落して川に横たわる新天瀬橋(7月7日、日隈市議撮影)